



さくらんぼ・苺組だより



東神の倉清涼保育園

寒さが一段と増す時期となりました。寒さに負けず元気いっぱいの子ども達です。

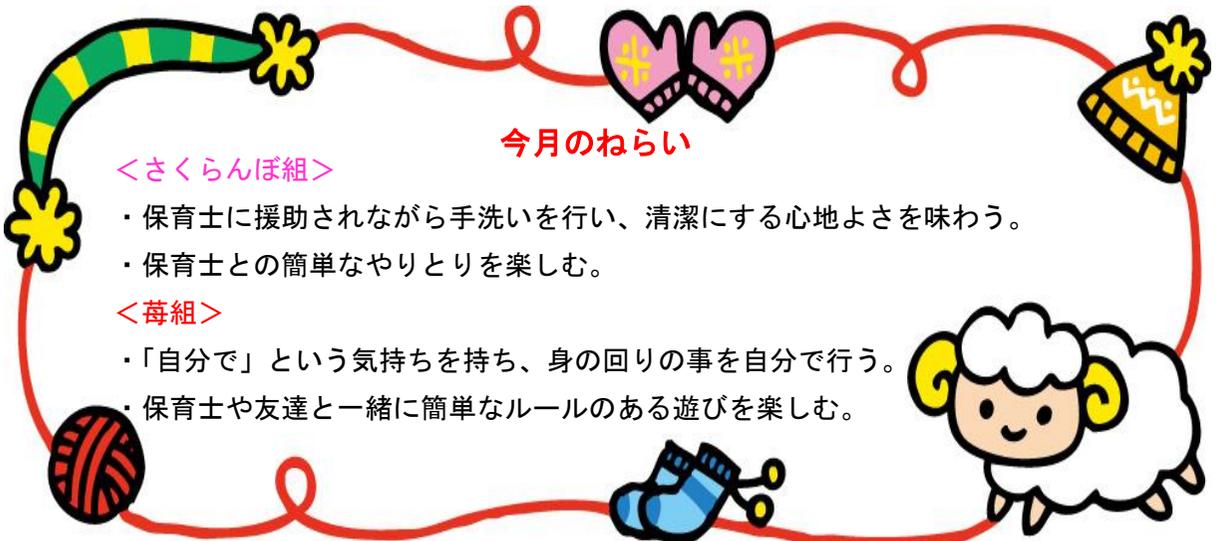
<さくらんぼ組>

先月は、リズム遊びを楽しみました。曲や歌を聞いて手をヒラヒラさせたり、足をパタパタさせて楽しんでいました。また、苺組さんの遊戯にも興味津々で踊りを真似していました。

<苺組>

発表会の練習では、遊戯の曲を聴き、保育士や友達の真似をして踊り、曲が終わっても「チャオチャオ、もう一回やる！」ととても気に入っていました。また、衣装を着用すると「可愛い！」と言って、友達同士で見せ合い嬉しそうでした。

体調を崩しやすい季節ですが、手洗いを行ない元気に過ごしていきたいと思いません。



今月のねらい

<さくらんぼ組>

- ・保育士に援助されながら手洗いをし、清潔にする心地よさを味わう。
- ・保育士との簡単なやりとりを楽しむ。

<苺組>

- ・「自分で」という気持ちを持ち、身の回りの事を自分で行う。
- ・保育士や友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。

今月の歌

- ・鬼のパンツ
- ・雪だるまのチャチャチャ
- ・おちゃをのみに



お知らせ

2月より苺組に1名、新しいお友達が増えました。たくさん遊ぼうね！





東神の倉清涼保育園

今、檸檬組では、団子作りが流行っています。きっかけは、幼児クラスのお友達が砂場で綺麗な団子を作っているのを見てからです。「団子作りたい!」「やりたい」と意欲的で初めは、保育士に作ってもらっていましたが。最近では、砂に水をかけて泥を作り、自分達で団子の形にし、白砂をかけて大切に作っています。壊れてしまう事もありますが、もう一度、作り直して諦めずに取り組む姿が見られます。また、お友達とおしゃべりを楽しみながら団子を作り、一つの遊びに集中できるようになってきました。

生活発表会に向けて、劇遊びに取り組んでいます。動物になりきって表現したり、簡単な台詞を覚えてやりとりをしたり、歌を楽しそうに歌っています。練習を重ねていくと大きな声が出るようになり、歌や台詞を言う事に自信が持てるようになってきました。

今年度も残り2ヶ月を切りました。まだまだ、寒い日が続きますが、一日一日を大切に今月も元気いっぱい楽しく過ごしていきたいと思います。

今月のねらい

- ・身の回りのことを進んで行い、自信を持って生活を送れるようにする。
- ・寒さに負けず、戸外で身体を十分に動かして遊ぶ。



今月の諺

鬼の目にも涙

【意味】

・どんなに冷酷な人でも他人を憐れんだり、同情して涙を流すことがあること。